

# 心理学と心理的支援

基礎科目 / 4 単位 / TM 授業

担当教員 村上勝典（テキスト担当）

三宅邦建 加藤由美・高山巖・田中陽子・前田直樹（メディア部分担当）

■使用テキスト	一般社団法人日本ソーシャルワーク教育学校連盟編集 『最新 社会福祉士養成講座 精神保健福祉士養成講座2 心理学と心理的支援』中央法規出版 2021
◆参考テキスト	別になし

## 講義概要・一般目標

最も受け入れられている心理学の定義は、「人間の心と行動を科学的に研究する学問」である。この講座では一般教養としての心理学の基礎と心理学の福祉・臨床的応用とを学ぶ。テキストの目次を一読すればわかるように、心理学は非常に幅の広い学問である。幅の広さを楽しみ、そして日常生活や福祉領域等の仕事への応用を考えながら、受講生は学習を進めていくことが重要である。

添削課題1は、第1章から2章までをカバーし、添削課題2では第3章と第6章までをカバーする。（単位認定試験の内容と形式は添削課題に準じたものになる。）

## 到達目標

- 1) 人間行動に関する基礎的な知識を得る
- 2) 得られた知識を現実の場（生活や仕事）に応用できる

## 評価方法

T部分：科目単位認定試験により評価。

M部分：提出レポートにより評価。

## 学習指導

### 第1章 心理学の視点

#### この章のポイント

この章のポイント：心理学の発展の歴史と心理学の研究法について学ぶ。

キーワード（概念）：グントの創造的総合の原理、ゲシュタルト心理学、行動主義、新行動主義、認知心理学、精神分析学、人間性心理学、実験法、調査法、観察法、面接法、生態心理学、進化心理学、比較心理学、行動遺伝学

## 第2章 人の心の基本的な仕組みと機能

### この章のポイント

この章のポイント：脳の構造や機能などの計測手法、感覚・知覚・認知の仕組みについて学ぶ。また、感情、欲求や動機づけ、学習理論と記憶理論を学び、日常生活への応用を考える。さらには、知能の理論や性格理論の基礎（類型論や特性論等）、人間関係、そして集団のダイナミクスを学ぶ。

キーワード（概念）：中枢神経系・末梢神経系、大脳皮質、機能局在、感覚性失語・運動性失語、EEG、PET・SPECT、MRI、共有環境・非共有環境、感情・情動・気分・情緒、末梢起源説・中枢起源説・認知的評価理論、一次欲求・二次欲求、マズローの欲求階層、内発的動機づけ・外発的動機づけ、原因帰属理論、自己効力感、学習性無力感、期待価値理論、感覚モダリティ、クロスモーダル知覚、錐体・桿体、弁別閾、明順応・暗順応、両眼視差、体制化、知覚的補完、恒常性、レスポナント条件付け、強化、無条件刺激、条件刺激、般化、弁別、消去、オペラント条件づけ、正の強化、負の強化、正の罰、負の罰、強化スケジュール、観察学習、カクテルパーティ効果、トップダウン処理・ボトムアップ処理、短期記憶・長期記憶、作動記憶、宣言的記憶・非宣言的記憶、展望的記憶、忘却、アルゴリズム・ヒューリスティック、二因子説、多因子説、流動性知能・結晶性知能、多重知能説、知能検査、ユングの類型論、クレッチマーの類型論、オールポートの特性論、キャッテルの特性論、アイゼンクの特性論、ビッグファイブ、テストバッテリー、印象形成、ハロー効果、ステレオタイプ、単純接触効果、傍観者効果、社会的抑制・社会的促進、ピグマリオン効果、同調、集団極性化効果、PM理論、コンティンジェンシー理論

## 第3章 人の心の発達過程

### この章のポイント

認知・言語・道徳性について、生涯発達の視点から高齢期までの発達を考える。

キーワード（概念）：発達と成長、発達の遺伝的要因・環境的要因、臨界期、刻印づけ、成熟優位説、生理的早産、発達の最近接領域、発達の段階説と発達課題、ピアジェの認知的発達理論、共同注意、喃語、アタッチメント、ストレンジ・シチュエーション法、道徳性の発達段階

## 第4章 日常生活と心の健康

### この章のポイント

ストレスの心理学理論とストレス対処を学ぶ。さらには、心の健康の維持・増進・回復について学ぶ。自分の日常生活と関連付けて学ぶと分かりやすい。

キーワード（概念）：ストレス・ストレッサー・ストレス反応、恒常性維持（ホメオスタシス）、闘争・逃走反応、汎適応症候群（警告反応、抵抗、疲弊）、社会的再適応評価尺度、ライフイベント、日常のいら立ちごと、心理社会的ストレスモデル、ハーディネス、楽観主義、タイプA行動パターン、バーンアウトの症状、適応障害、うつ病、心的外傷後ストレス障害、物質関連障害、ソーシャル・サポート、コーピング、ポジティブ心理学、首尾一貫感覚

## 第5章 心理学の理論を基礎としたアセスメントと支援の基本

### この章のポイント

アセスメント、心理的支援の技法、心理療法の理論を学ぶ。カウンセラー・相談職を目指す人にとっては重要な章になるだろう。

キーワード（概念）：ケースフォーミュレーション、インターク面接、知能検査、人格検査（質問紙法・投影法・作業検査法）、マイクロカウンセリング、動機づけ面接、精神分析、認知行動療法、応用行動分析、家族療法、ブリーフセラピー、動作法、対人関係療法、プレイセラピー、臨床心理士・公認心理師、生物心理社会モデル

## 第6章 ソーシャルワークと心理学

### この章のポイント

現場で心理学の学習や知識がどのように活用されているか、事例を通して考える。

### メディア教材

このクラスでは、メディア教材もテキスト同様に学習することになっている。心理学者が心理学の分野の概説を始め、臨床心理学、社会心理学など多彩な内容を語っている。受講生は、このメディア教材を視聴した後、レポート課題を提出することになっている。